

□主な内容

【地域環境を向上させる計画が多数策定】

国土交通省が推し進める「エコまちづくり」や「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」等によって、地域環境を向上させる計画が多数策定されています。

【東北 EST 創発セミナーが仙台で開催】

今年、広島を皮切りに、那覇、北九州で EST 創発セミナーを開催してきました。来週、今年最後の EST 創発セミナーが仙台で開催されます。多数のご参加を期待しています！

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 27 回)

●「EST と都心部のまちづくりと地域の人たちとの連携」

【神戸国際大学経済学部教授 土井勉】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 27 回)

●「松江市における路線バスを中心にした公共交通利用促進について」

【松江市市長室政策企画課総合交通政策室専門企画員 深江篤司】

3. ニュース／トピック

●今年度は 35 都市が「エコまちづくり」により都市環境対策に取り組みます【国土交通省】

●平成 20 年度「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」等の公募結果【国土交通省】

●エコ通勤ポータルサイト開設及びエコ通勤応募状況について【国土交通省】

●非接触給電ハイブリッドバスの実証走行試験を上高地で実施します【国土交通省】

●第 4 回アジアEST地域フォーラムの開催について【環境省】

●第 5 回東京都市圏パーソントリップ調査を 10 月 1 日から実施します【東京都市圏交通計画協議会】

●ノーマイカー(エコ通勤)デーの実施事業者及び個人実施者を募集しています【新潟市】

●秦野市 TDM 取組紹介のホームページ開設【秦野市】

●自転車専用通行帯の実証実験を行います【静岡市】

●京都府次世代自動車普及推進協議会の設置について【京都府】

●名古屋で駐車デポジットシステム(Parking Deposit System; PDS)社会実験がスタート【名古屋大学】

- 大黒 PA 及び平和島 PA(上)に電気自動車用急速充電器を設置【首都高速道路】
- 2007 年度低公害車等の出荷台数実績の公表について【日本自動車工業会】
- ノルウェーで水素ロータリーエンジン車の公道走行を開始【マツダ】
- 平成 20 年度グリーン物流パートナーシップ推進事業の2次募集を開始！【社団法人日本ロジスティクスシステム協会、社団法人日本物流団体連合会、経済産業省、国土交通省】
- 第 6 回「モーダルシフト取り組み優良事業者」を公表しました【日本物流団体連合会】
- ベルメゾンネットにおける「CO2 排出権付き飛脚宅配便」取り扱い好調【千趣会、佐川急便】

4. イベント情報

- 東北 EST 創発セミナー【2008/11/4】
- 中心市街地活性化—交通まちづくり研究からの処方箋【2008/10/31】
- 自転車ワークショップ「自転車のある暮らし提案★自転車でいこう！！」【2008/11/1】
- わがまち公共交通かいぎ in 新潟～第 6 回全国バスマップサミット【2008/11/1,2】
- TOKYO MOTOR WEEK 2008【2008/11/1,2,3,8,9】
- 第 7 回 ITS シンポジウム 2008【2008/12/4,5】

5. その他

- 記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 27 回)

- 「EST と都心部のまちづくりと地域の人たちとの連携」

【神戸国際大学経済学部教授 土井勉】

ESTを推進するためには、どこに行くのもクルマが便利で快適というライフスタイルを見直すことが大切です。しかし、実際には都心部など中心市街地にクルマで行くことは渋滞や駐車場探しなど面倒なことが多く、クルマがバス・鉄道など公共交通に比べて便利で快適ではないことも多くあります。

また、商業施設単体だけでなく都心部のまちの活性化を考える場合には、まち全体を快適に歩いて散策し滞留してもらうことが必要になります。歩くことはまちの魅力の発見につながり、また滞留時間の増加は商業の売上にも貢献するからです。楽しく散策してもらうためのまちづくりを考える場合、クルマよりも、公共交通や自転車、そして歩行者を重視することが不可欠です。すなわち、ESTは環境とともに中心市街地活性化にも好影響を及ぼすことになります。

例えば、2007 年秋に KOBEST (KOBE と EST を合わせた名称)2007 という名称で、神戸市の都心部の回遊を支える「ちよいのりバス」の運行実験を行政＋公共交通事業者＋地域の商業者＋NPO などの皆さんと企画し実施しました。この時に数多くの「まち歩きツア

ー」も誕生しました。こうした活動が楽しくできたことがバネになり、実験終了後は地域の人たちが中心となり KOBE 地球おもてなし倶楽部という集まりが誕生しました。今年 5 月に神戸市で開催された G8 環境大臣会合に合わせたイベントなどにも参加をしています。神戸のまちの魅力向上と環境的にも持続可能な交通とまちづくりの活動が進められているのです。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 27 回)

●「松江市における路線バスを中心にした公共交通利用促進について」

【松江市市長室政策企画課総合交通政策室専門企画員 深江篤司】

松江市では、「だれもが、安心して、やさしく移動できるまち・松江」の実現に向け、公共交通体系整備計画を平成18年度に策定し、その計画を基本に平成19年度以降各種の取組みを実施してきました。特に平成20年度は、自家用車利用から環境負荷の少ない公共交通への転換を促すため、市民が主体的に、また積極的に関わりを持つ「松江市公共交通利用促進市民会議」を設け、市民、企業、バス事業者、行政が協働して環境負荷の低減と、公共交通の利用促進を図るべく現在活動中であります。

住民へのモビリティ・マネジメント(以下、MM)については、バス路線の存廃問題を契機として、住民自らがバス利用促進委員会を立ち上げた地域をモデル地域に選定し、地域住民への情報提供、地域の小学校での「バスの乗り方教室」などを実施すると共に、高齢者には、マイ時刻表の作成など、個々に見合った手法による情報の提供を行い、地域を挙げての取り組みとなっています。

一方で、公共交通の利用促進を図る上で、利用しやすいダイヤ編成、路線といった利用者の視点にたった改善を行うことによって、企業における MM を実施し、自家用車からの転換を喚起しています。

今後は、環境負荷低減の面と共に、高齢化率が高い本市にとって、市民の移動手段確保は緊急且つ重要な課題であり、公共交通維持と環境負荷低減をセットにして市民へ協力を要請していきます。

3. ニュース／トピック

●今年度は35都市が「エコまちづくり」により都市環境対策に取り組めます【国土交通省】

国土交通省では、都市における面的な環境対策の要請の高まりを背景に、集約拠点等において都市交通、緑化、エネルギーなどの各分野の先導的な都市環境対策を推進する「エコまちづくりパッケージ(先導的都市環境形成総合支援事業)」と、計画策定、関係者間のコーディネートや社会実験・実証実験等の実施を支援する「エコまちづくり事業(先導的都市環境形成促進事業)」を創設しました。本年 6 月に 21 都市における事業に対し、第一次の補助金交付を行いました。今般、都市環境対策に積極的に取り組む 19 都市(新規 14 都市、追加 5 都市)における事業に対し、エコまちづくり事業に係る第二次の補助

金を交付することを決定いたしました。第一次内示と併せて、本年度は合計 35 都市においてエコまちづくり事業に取り組むこととなります。

http://www.mlit.go.jp/report/press/city08_hh_000004.html

●平成20年度「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」等の公募結果【国土交通省】

地域公共交通の活性化・再生に主体的に取り組む地域を支援することを目的として、『地域公共交通活性化・再生総合事業』を平成20年度に新設しました。本事業を活用するために必要な、「地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画」及び「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」の第三次公募について、各運輸局において認定をしましたので、お知らせします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000006.html

●エコ通勤ポータルサイト開設及びエコ通勤応募状況について【国土交通省】

この度、「エコ通勤」に関する情報発信等を目的として、国土交通省ホームページ内に、エコ通勤ポータルサイトを開設しましたので、お知らせします。

(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/ecommuters/>)

また、平成19年11月20日に開催されました、第7回公共交通利用推進等マネジメント協議会において、『モビリティ・マネジメントによる「エコ通勤」促進行動計画』が採択され、平成20年3月3日より「エコ通勤」の推進を図る事業所等の公募を実施し、随時応募を受け付けているところです。9月25日開催の第9回公共交通利用推進等マネジメント協議会において報告された、現時点における応募状況についてお知らせします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000005.html

●非接触給電ハイブリッドバスの実証走行試験を上高地で実施します【国土交通省】

国土交通省では、革新的技術を投入し、環境性能を大幅に向上させた次世代の低公害トラック・バスの開発・実用化を進めるため、産学官の連携により「次世代低公害車開発・実用化促進プロジェクト」を実施しています。このプロジェクトにおいて開発し、走行試験を行ってきた非接触給電ハイブリッドバスについて、松本電気鉄道(株)の協力を得て長野県上高地で実証走行試験を実施します。試験走行は、10月15日(水)から17日(金)まで行い、山岳路・観光路線における操作性、走行性能、環境性能等についてデータを収集し、今後のさらなる実用性向上に活用します。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000012.html

●第4回アジアEST地域フォーラムの開催について【環境省】

環境省と国際連合地域開発センター(UNCRD)は、韓国政府の協力のもと、平成21年2月24～26日に、アジアEST地域フォーラムの第4回会合を、韓国・ソウルにて開催するこ

といたしましたので、お知らせします。アジア EST 地域フォーラムは、アジア地域における環境的に持続可能な交通 (EST) の実現を目指して、我が国と国際連合地域開発センター (UNCRD) が共同で設立した、政府ハイレベルによる政策対話会合です。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10294>

●第5回東京都市圏パーソントリップ調査を10月1日から実施します【東京都市圏交通計画協議会】

東京都市圏交通計画協議会では、第5回東京都市圏パーソントリップ調査(大規模な総合的交通実態調査)を実施します。10年に1度の大規模調査です。パーソントリップ調査は、どのような人が、どのような目的・交通手段で、どこからどこへ移動したかなど、ある人の平日1日の動きを調査します。調査結果は将来のまちづくりや交通計画、大地震発生時の帰宅困難者支援のための対策の立案、新型インフルエンザの被害の拡大推計など、交通や防災、各種研究分野で幅広く活用されています。パーソントリップ調査は、全国の主要な都市圏においても実施されていますが、東京都市圏における調査は全国でも最大規模です。また、5回目の調査を実施するのは、東京都市圏が初めてとなります。

http://www.mlit.go.jp/report/press/city07_hh_000009.html

●ノーマイカー(エコ通勤)デーの実施事業者及び個人実施者を募集します【新潟市】

新潟市では、公共交通や徒歩・自転車といった環境にやさしい移動手段へ自発的に転換していただくことを目的とし、日ごろマイカー通勤されている企業等の従業者や市民を対象としたノーマイカー(エコ通勤)デーを実施します。期間は平成20年11月10日(月)～11月14日(金)とし、マイカー通勤を自粛し、バス、電車、自転車、徒歩、他車への相乗り及びパーク&ライド等により通勤していただきます。

http://www.city.niigata.jp/info/kotsu/no-my-car_day/guidebook.pdf

●秦野市 TDM 取組紹介のホームページ開設【秦野市】

秦野市では、EST に貢献する交通需要マネジメント (TDM) の取組について紹介するホームページを更新しました。市内100事業所以上が参加する「ノーマイカーウィーク秦野」進捗状況、市内小学校の8割で実施の「TDM 教育」などについて掲載していますので、是非ご覧ください。

<http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/t-keikaku/koutuu/tdm/index.html>

●自転車専用通行帯の実証実験を行います【静岡市】

清水駅前地区は、国土交通省と警察庁から自転車通行環境整備モデル地区に指定されています。モデル地区では、地元自治会代表・自転車利用者・行政からなるワーキンググループを立ち上げ、自転車・歩行者が安心して通行できる道路空間の構築を目指します。この度、「安心・安全な自転車通行空間」確保に向け、モデル地区の1区間である辻町北

脇 1 号線で実証実験を行い、その効果や課題を洗い出します。実証実験の結果を元に、より安全で安心できる自転車通行空間を整備します。

<http://www.city.shizuoka.jp/000076666.pdf>

●京都府次世代自動車普及推進協議会の設置について【京都府】

電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(pHV)の普及策の検討及び推進のため、下記のとおり京都府次世代自動車普及推進協議会を設置し、電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(pHV)の普及策の検討、普及策の推進及び推進協力を行います。

<http://www.pref.kyoto.jp/news/general/2008/10/1224224521863.html>

●名古屋で駐車デポジットシステム(Parking Deposit System; PDS)社会実験がスタート【名古屋大学】

名古屋大学大学院森川・山本研究室では、渋滞する都心部で最も合理的に交通量を減らす施策である都心部乗り入れ課金(RP)に近い効果を持ちながら、より社会的受容性の高い世界初の都市交通施策である PDS の社会実験を 9 月～12 月まで実施いたします。GPS 付携帯電話を使用してモニターの都心部訪問行動に実際に課金・返金する「PDS コアモニター実験」と、インターネットを使用し、一般の方でも参加できる「PDS インターネット実験」がありますので、下記の web よりインターネット実験に是非ご参加ください。

<http://nutrend.jp/pds/>

●大黒 PA 及び平和島 PA(上)に電気自動車用急速充電器を設置【首都高速道路】

首都高速道路株式会社は、環境負荷低減への取り組みとして、低公害車の一つである電気自動車の普及促進に貢献するため、首都高速道路の大黒パーキングエリアと平和島パーキングエリア(上)に電気自動車用急速充電器を試行設置します。これは、高速道路会社として初めての試みとなります。大黒パーキングエリアについては 10 月 10 日(金)から、平和島パーキングエリアでは 10 月末頃から運用を開始し、当面 1 年間の試行期間中は、無料でご利用いただけるようにし、その後は電気自動車の普及状況等を勘案しながら運用方法を検討します。急速充電器を使用すると、5 分で約 40km、10 分で約 60km 走行分の充電をすることができます。

<http://www.shutoko.jp/company/press/h20/1008.html>

●2007 年度低公害車等の出荷台数実績の公表について【日本自動車工業会】

日本自動車工業会は、2007 年度低公害車等の出荷台数実績をホームページにおいて 10 月 20 日(月)より公表しました。実績によると、ハイブリッド車などの一部の低公害車で前年度より出荷台数が増加していますが、軒並み出荷台数は減少しました。

http://release.jama.or.jp/sys/news/detail.pl?item_id=1346

●ノルウェーで水素ロータリーエンジン車の公道走行を開始【マツダ】

マツダ株式会社は、ノルウェー王国の国家プロジェクトである HyNor と共同で、水素ロータリーエンジン車『マツダ RX-8 ハイドロジェン RE』による同国の公道走行を開始しました。この車両はモニター車として現地で活用され、さまざまな評価を行うとともに各種イベントへの参加を予定しています。これはマツダの水素ロータリーエンジン車として初めての、海外における本格的な公道走行となります。

<http://www.mazda.co.jp/corporate/publicity/release/2008/200810/081015b.html>

●平成 20 年度グリーン物流パートナーシップ推進事業の2次募集を開始！【社団法人日本ロジスティクスシステム協会、社団法人日本物流団体連合会、経済産業省、国土交通省】

グリーン物流パートナーシップ会議では、平成 20 年度に行う荷主と物流事業者が協働して取り組むCO2排出量削減プロジェクトの提案（普及事業）の2次募集を 10 月 17 日（金）より開始しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000013.html

●第 6 回「モーダルシフト取り組み優良事業者」を公表しました【日本物流団体連合会】

当連合会では、平成15年6月、モーダルシフト促進に関し、物流事業者の自主的な取り組みの推奨や、取り組み意識の高揚等を図るため、モーダルシフトを積極的に推進した優良な事業者を公表する「モーダルシフト取り組み優良事業者公表制度」を創設いたしました。この度、第 6 回モーダルシフト取り組み優良事業者を国土交通省の後援により決定しましたので、公表します。

<http://www.butsuryu.or.jp/modal/announce6.html>

●ベルメゾンネットにおける「CO2 排出権付き飛脚宅配便」取り扱い好調【千趣会、佐川急便】

株式会社千趣会と佐川急便株式会社は、本年 9 月 1 日から佐川急便が開発した「CO2 排出権付き飛脚宅配便」を、千趣会のオンラインショッピングサイト「ベルメゾンネット」（<http://www.bellemaison.jp>）の配送サービスに導入しています。スタートから 1 ヶ月間（9 月 1 日～9 月 30 日）で、CO2 排出権付きの指定便で配送した個数が 11,773 個（CO2 排出権：約 11t 相当）を数えました。

<http://www.sg-hldgs.co.jp/news/2008/news20081014.html>

4. イベント情報

●東北 EST 創発セミナー

日時：2008 年 11 月 4 日（火） 13:30～16:30（13:00 受付開始）

場所: 仙台サンプラザ 1 階「パール」

主催: 交通エコロジーモビリティ財団、EST 普及推進委員会、東北運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu7.html>

● 中心市街地活性化—交通まちづくり研究からの処方箋

日時: 10 月 31 日(金)午後6時～8時

場所: 和歌山市民会館小ホール

主催: 第 38 回土木計画学研究発表会開催記念シンポジウム

<http://www.eco.wakayama-u.ac.jp/~ktjapanh/komachi1031.pdf>

● 自転車ワークショップ「自転車のある暮らし提案★自転車で行こう！！」

日時: 2008 年 11 月 1 日(土)13:30～16:30

場所: 松山市子規記念博物館・講堂(4 階)

主催: 松山市都市整備部総合交通課

http://www.city.matsuyama.ehime.jp/koutuu/1187643_1005.html

● わがまち公共交通かいぎ in 新潟～第 6 回全国バスマップサミット

日時: 11 月 1 日(土)、2 日(日)

場所: 天寿園

主催: にいがた環境交通研究会

<http://www.decltd.co.jp/koutu/sumit.html>

● TOKYO MOTOR WEEK 2008

日時: 2008 年 11 月 1 日(土)、2(日)、3(月・祝)、8(土)、9(日)

場所: アクアシティお台場、メディアージュ、デックス東京ビーチ、クイーンズスクエア横浜、ランドマークプラザ、横浜赤レンガ倉庫、東京ミッドタウン

主催: (社)日本自動車工業会

http://release.jama.or.jp/sys/news/detail.pl?item_id=1345

● 第 7 回 ITS シンポジウム 2008

日時: 2008 年 12 月 4 日(木)、5 日(金)

場所: 日本大学生産工学部津田沼キャンパス 37 号館

主催: 特定非営利活動法人 ITSJapan

<http://www.its-jp.org/event/symposium/sym07.htm>

5. その他

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:EST@ecomoto.or.jp (担当:市丸)

=====

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>